

令和8年4月開始

看護師特定行為研修 募 集 要 項

【急性期・病棟コース】

【慢性期・在宅コース】

公立大学法人 奈良県立医科大学

【指定研修機関番号：1529001】

〒634-8522

奈良県橿原市四条町 840 番地

TEL 0744-22-3051 (内線 2185、3818)

1. 特定行為研修における理念・目的・目標

(1) 理念

県下唯一の医科大学として、高度実践的看護臨床教育を通して地域医療の質向上に貢献します。また、特定行為を行う看護職としての社会的責任と役割を自覚し、新たな臨床看護の発展に寄与することのできる看護師を育成します。

(2) 目的

本特定行為研修により、地域医療及び高度医療の現場において、特定行為を実践する看護師としての社会的責任と役割を自覚しながら、高度な臨床実践能力を発揮し、チーム医療のキーパーソンとして機能できる看護師を育成します。

(3) 目標

本特定行為研修は、高度医療や地域医療の場において、特定行為に必要な臨床判断を包括的にできる能力、特定行為を倫理的かつ安全に行える能力、チーム医療のキーパーソンとして多職種と協働して問題解決できる能力、医学的視点と看護学的視点を融合した新たな看護展開を標準化する能力を養うことを目標とする。

2. 研修概要

(1) 研修を実施する特定行為区分及び特定行為

特定行為区分の名称		特定行為
1	呼吸器（気道確保に係るもの）関連	経口用気管チューブ又は経鼻用気管チューブの位置の調整
2	呼吸器（人工呼吸療法に係るもの）関連	侵襲的陽圧換気の設定の変更
		非侵襲的陽圧換気の設定の変更
		人工呼吸管理がなされている者に対する鎮静薬の投与量の調整
		人工呼吸器からの離脱
3	呼吸器（長期呼吸療法に係るもの）関連	気管カニューレの交換
4	循環器関連	一時的ペースメーカーの操作及び管理
		一時的ペースメーカーリードの抜去
		経皮的心肺補助装置の操作及び管理
		大動脈内バルーンポンピングからの離脱を行うときの補助の頻度の調整

特定行為区分の名称		特定行為
5	ろう孔管理関連	胃ろうカテーテル若しくは腸ろうカテーテル又は胃ろうボタンの交換
		膀胱ろうカテーテルの交換
6	栄養に係るカテーテル管理（中心静脈カテーテル 管理） 関連	中心静脈カテーテルの抜去
7	栄養に係るカテーテル管理（末梢留置型中心静脈注射用カテーテル管理） 関連	末梢留置型中心静脈注射用カテーテルの挿入
8	創傷管理関連	褥瘡又は慢性創傷の治療における血流のない壊死組織の除去
		創傷に対する陰圧閉鎖療法
9	動脈血液ガス分析関連	直接動脈穿刺法による採血
		橈骨動脈ラインの確保
10	栄養及び水分管理に係る薬剤投与関連	持続点滴中の高カロリー輸液の投与量の調整
		脱水症状に対する輸液による補正
11	血糖コントロールに係る薬剤投与関連	インスリンの投与量の調整
12	術後疼痛管理関連	硬膜外カテーテルによる鎮痛剤の投与及び投与量の調整
13	循環動態に係る薬剤投与関連	持続点滴中のカテコラミンの投与量の調整
		持続点滴中のナトリウム、カリウム又はクロールの投与量の調整
		持続点滴中の降圧剤の投与量の調整
		持続点滴中の糖質輸液又は電解質輸液の投与量の調整
		持続点滴中の利尿剤の投与量の調整
14	精神及び神経症状に係る薬剤投与関連	抗けいれん剤の臨時の投与
		抗精神病薬の臨時の投与
		抗不安薬の臨時の投与

(2) 研修コースの選択

奈良県立医科大学特定行為研修では「急性期・病棟コース」「慢性期・在宅コース」の2領域からコースを選択できます。

R8年度募集より、それぞれのコースにおいて頻度の高い特定行為を必須区分とし、各コースの選択区分から取得したい区分を選択できるようになりました。また、オプションでは従来は選択できなかった「急性期・病棟コース」「慢性期・在宅コース」内の区分も要件が整えば選択可能となりました。受講者の所属での活用を見据えた研修コースの選択が可能です。

履修選択についての質問・相談は電話にてお問合せください。

【選択方法の詳細】

① 必須区分として「急性期・病棟コース」「慢性期・在宅コース」どちらか一方を選択する。

② 「急性期・病棟コース」では、選択区分に受講したい区分があれば選択できます。

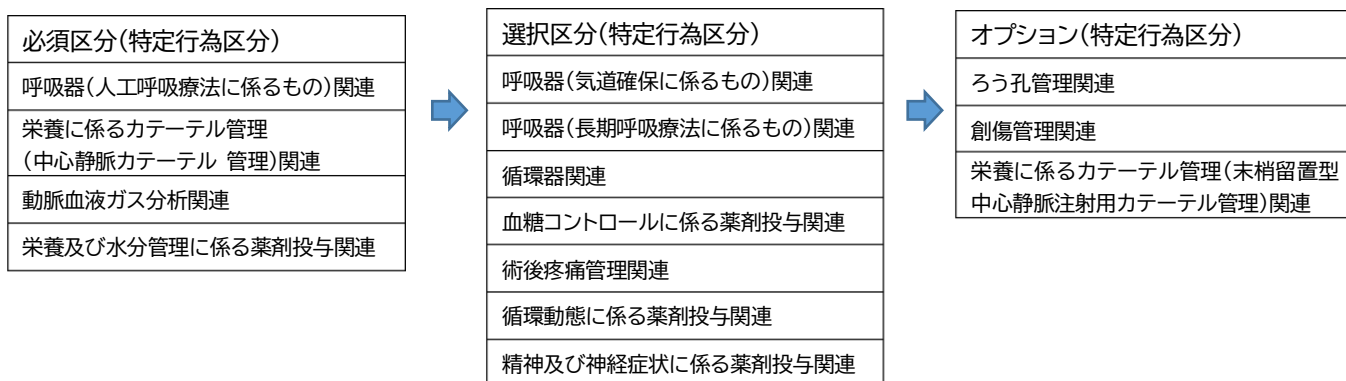
「慢性期・在宅コース」では、必須区分に加え選択区分を1区分以上選択してください。

両コースとも複数選択可です。

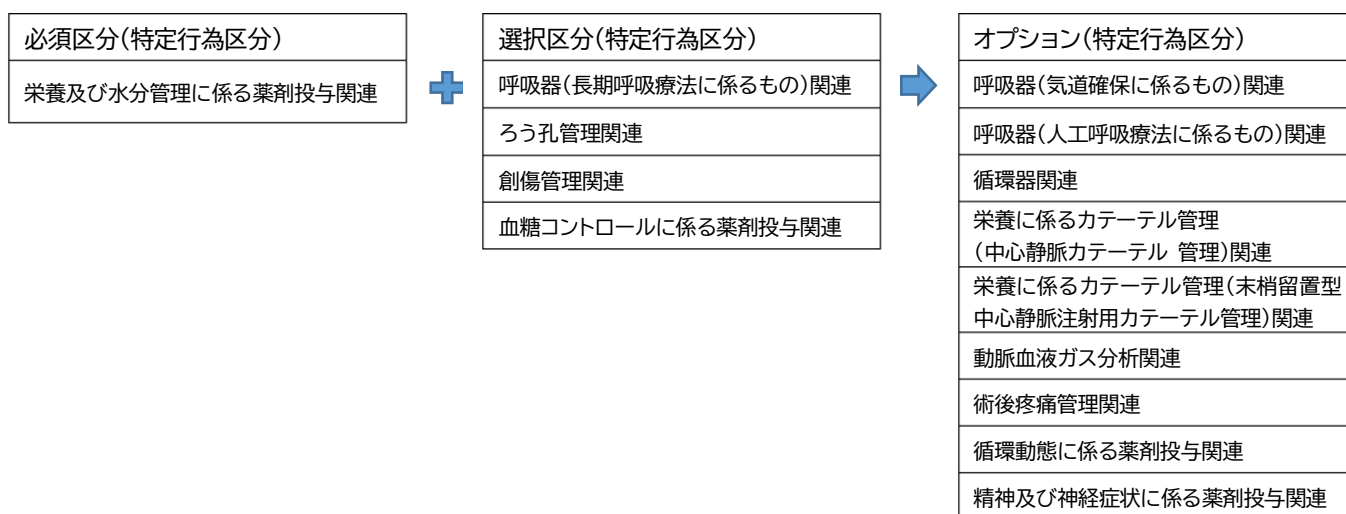
③ オプションでは受講したい区分があれば選択できます。複数選択可です。

*ただし、オプションを選択する場合、まず選択区分を1区分以上必ず選択してください。

急性期・病棟コース



慢性期・在宅コース



(3) 受講区分・募集定員

◇急性期・病棟コース

※必須区分（4区分9行為）

特定行為区分		募集定員
①	呼吸器（人工呼吸療法に係るもの）関連	8名
②	栄養に係るカテーテル管理（中心静脈カテーテル管理）関連	
③	動脈血液ガス分析関連	
④	栄養及び水分管理に係る薬剤投与関連	

※区分の選択はできません。全ての区分を受講していただきます。

※選択区分（7区分16行為）

特定行為区分		募集定員
①	呼吸器（気道確保に係るもの）関連	8名
②	呼吸器（長期呼吸療法に係るもの）関連	5名
③	循環器関連	5名
④	血糖コントロールに係る薬剤投与関連	8名
⑤	術後疼痛管理関連	8名
⑥	循環動態に係る薬剤投与関連	8名
⑦	精神及び神経症状に係る薬剤投与関連	5名

※選択区分の受講を希望する者は、前提として必須区分を受講すること。（複数区分の受講可）

※オプション（3区分5行為）

特定行為区分		募集定員
①	ろう孔管理関連	若干名
②	創傷管理関連	若干名
③	栄養に係るカテーテル管理（末梢留置型中心静脈注射用カテーテル管理）関連	若干名

※オプションの受講を希望する者は、前提として選択区分を最低1区分受講すること。

※オプションの区分について、定員を超えた場合は、慢性期・在宅コースを選択された方を優先させていただきます。（③「栄養に係るカテーテル管理関連」は除く）

◇慢性期・在宅コース

必須区分（1区分2行為）

特定行為区分		募集定員
①	栄養及び水分管理に係る薬剤投与関連	12名

※選択区分を1区分以上併せて受講すること。

※選択区分（4区分6行為）

特定行為区分		募集定員
①	呼吸器（長期呼吸療法に係るもの）関連	12名
②	ろう孔管理関連	12名
③	創傷管理関連	12名
④	血糖コントロールに係る薬剤投与関連	12名

※(複数区分の受講可)

※オプション（9区分22行為）

特定行為区分		募集定員
①	呼吸器（気道確保に係るもの）関連	若干名
②	呼吸器（人工呼吸療法に係るもの）関連	若干名
③	循環器関連	若干名
④	栄養に係るカテーテル管理（中心静脈カテーテル管理）関連	若干名
⑤	栄養に係るカテーテル管理（末梢留置型中心静脈注射用カテーテル管理）関連	若干名
⑥	動脈血液ガス分析関連	若干名
⑦	術後疼痛管理関連	若干名
⑧	循環動態に係る薬剤投与関連	若干名
⑨	精神及び神経症状に係る薬剤投与関連	若干名

※オプションの区分について、定員を超えた場合は、急性期・病棟コースを選択された方を優先させていただきます。（⑤「栄養に係るカテーテル管理関連」は除く）

（４）研修期間（別添進度表をご参照ください）

1年間（令和8年4月～令和9年3月）

（５）研修場所

奈良県立医科大学、奈良県立医科大学附属病院及び奈良県内の指定協力施設

(6) 教育内容

研修は、全ての特定行為区分に共通するものの向上を図るための「共通科目」と、特定行為区分ごとに異なるものの向上を図るための「区分別科目」に分かれています。各科目は講義、演習または実習によって行います。共通科目を全科目修得した後、区分別科目を履修します。

本学における研修は、「共通科目」の講義はe-learningでの個別履修、演習はWeb会議システムを利用した遠隔研修または集合研修、実習は集合研修となり、「区分別科目」はe-learningでの個別履修と独自のカリキュラムによる集合研修と臨床での実習を中心とします。

○共通科目

科目名称	時間数
臨床病態生理学	30 時間
臨床推論	45 時間
フィジカルアセスメント	45 時間
臨床薬理学	45 時間
疾病・臨床病態概論	40 時間
医療安全学・特定行為実践	45 時間
合計	250 時間

○区分別科目

◇急性期・病棟コース

コース名	特定行為区分名称	時間数 (講義・演習)	実習 症例数
必須区分	呼吸器（人工呼吸療法に係るもの）関連	29 時間	全ての 特定行 為ごと に5～ 10症 例
	栄養に係るカテーテル管理（中心静脈カテーテル管理）関連	7 時間	
	動脈血液ガス分析関連	13 時間	
	栄養及び水分管理に係る薬剤投与関連	16 時間	
選択区分	呼吸器（気道確保に係るもの）関連	9 時間	
	呼吸器（長期呼吸療法に係るもの）関連	8 時間	
	循環器関連	20 時間	
	血糖コントロールに係る薬剤投与関連	16 時間	
	術後疼痛管理関連	8 時間	
	循環動態に係る薬剤投与関連	28 時間	
	精神及び神経症状に係る薬剤投与関連	32 時間	
オプション	ろう孔管理	22 時間	
	創傷管理関連	34 時間	
	栄養に係るカテーテル管理（末梢留置型中心静脈注射用カテーテル管理）関連	8 時間	

◇慢性期・在宅コース

コース名	特定行為区分名称	時間数 (講義・演習)	実習 症例数
必須区分	栄養及び水分管理に係る薬剤投与関連	1 6 時間	全ての 特定行 為ごと に5～ 10症 例
選択区分	呼吸器（長期呼吸療法に係るもの）関連	8 時間	
	ろう孔管理関連	2 2 時間	
	創傷管理関連	3 4 時間	
	血糖コントロールに係る薬剤投与関連	1 6 時間	
オプション	呼吸器（気道確保に係るもの）関連	9 時間	
	呼吸器（人工呼吸療法に係るもの）関連	2 9 時間	
	循環器関連	2 0 時間	
	栄養に係るカテーテル管理（中心静脈カテーテル管理）関連	7 時間	
	栄養に係るカテーテル管理（末梢留置型中心静脈注射用カテーテル管理）関連	8 時間	
	動脈血液ガス分析関連	1 3 時間	
	術後疼痛管理関連	8 時間	
	循環動態に係る薬剤投与関連	2 8 時間	
	精神及び神経症状に係る薬剤投与関連	3 2 時間	

（７）研修修了要件

共通科目における評価（筆記試験・各種実習の観察評価）に加え、区分別科目における評価（筆記試験・実技試験・各種実習の観察評価）に合格し、当法人の特定行為研修管理委員会における最終の修了判定を経て理事長が修了を認定します。なお、修了者には修了証を授与します。

3. 応募要項

（１）受講要件

受講申請にあたっては、次に定める要件を全て満たしていることとします。

- 1) 日本国内における看護師免許を有していること
- 2) 受講申請時点において、看護師免許取得後通算5年以上（急性期・病棟コースについては急性期領域が望ましい）の実務経験を有していること
- 3) 「栄養に係るカテーテル管理(末梢留置型中心静脈注射用カテーテル管理)関連」については、受講修了後、各自施設において継続して相当数の症例の実務経験を積めること
「循環器関連」の区分を受講する場合は、経皮的心肺補助装置、大動脈内バルーンポンピングの症例経験を有すること
- 4) 所属施設からの推薦状を添付できること

(2) 受講申請書類

- 1) 受講申請書 (様式第1号)
- 2) 履歴書 (様式第2号)
- 3) 志望理由書 (様式第3号)
- 4) 受講推薦書 (様式第4-1号) *推薦理由とともに組織としての活用計画(手順書作成体制、医療安全管理、研修終了後に貴施設で期待する役割や組織としての展望等)を具体的に記入してください
- 5) 受講同意書 (様式第4-2号)
- 6) 看護師免許証の写し *A4サイズに縮小コピーしたもの
- 7) 認定看護師認定証もしくは専門看護師認定証の写し *有資格者のみ
- 8) 受験票送付用封筒 *長形3号、宛先を明記し、送料用切手460円(簡易書留料金を含む)を貼ってください
- 9) 合否結果通知用封筒 *長形3号、宛先を明記し、送料用切手460円(簡易書留料金を含む)を貼ってください

※1 履歴書等の書類に虚偽の記載を行った場合は、合格を取り消すことがあります。

※2 提出された書類は返却いたしません。

※3 ※欄の記入は不要です。

(3) 書類提出方法

上記(2)の書類を、下記担当あてに簡易書留で郵送又は持参してください。所定様式(受講申請書・履歴書・志望理由書・受講推薦書・受講同意書)はホームページよりダウンロードすることができます。封筒の表に「特定行為研修受講申請書類在中」と朱書きで明記してください。

【宛先】 〒634-8522 奈良県橿原市四条町840

奈良県立医科大学附属病院 看護師特定行為支援センター 研修担当 宛

(4) 書類提出期間

令和7年9月10日(水) ～ 令和7年11月5日(水) (当日消印有効)

直接持参の場合は令和7年11月5日(水) 17時を提出期限とします。

(5) 受講審査料 (消費税および地方消費税含む)

【審査料】 20,000円

※お振込みは上記書類提出期間内にお願いします。

※原則として入金後の返金は致しません。

【振込先】 南都銀行 橿原支店 普通預金 0192567

名義人 公立大学法人奈良県立医科大学理事長 細井裕司

(6) 選考方法

書類審査、筆記試験、面接(面接に関する通知は11/5以降、郵送にてご案内します。)

(7) 試験日時

令和7年11月27日(木)

(8) 試験会場

奈良県立医科大学 スキルスラボ棟3階(詳細は別添「案内図」をご覧ください)

※お車での来場はご遠慮願います。

(9) 選考結果

令和7年12月10日(水) 本学ホームページに合格者の受験番号を掲載するとともに、受験者全員に対して合否結果を送付します。

※電話やFAXでの合否問い合わせにはお応えできませんので、ご注意ください。

(10) 受講手続き

合格通知の際に詳細をご案内します。

なお、受講にあたっては、当法人が指定する賠償責任保険に加入して頂きます。

4. 受講費用について

(1) 研修受講料(消費税および地方消費税含む)

◇必須区分

受講コース名	受講料
急性期・病棟コース(共通科目+4区分9行為)	640,000円

科目名称	受講料
慢性期・在宅コース(共通科目+1区分2行為)	430,000円

◇選択区分・オプション

受講区分名	受講料
呼吸器(気道確保に係るもの)関連	50,000円
呼吸器(人工呼吸療法に係るもの)関連	100,000円
呼吸器(長期呼吸療法に係るもの)関連	50,000円
循環器関連	80,000円
ろう孔管理関連	100,000円
栄養に係るカテーテル管理(中心静脈カテーテル管理)関連	40,000円

栄養に係るカテーテル管理（末梢留置型中心静脈注射用カテーテル管理）関連	100,000円
創傷管理関連	110,000円
動脈血液ガス分析関連	70,000円
栄養及び水分管理に係る薬剤投与関連	50,000円
血糖コントロールに係る薬剤投与関連	50,000円
術後疼痛管理関連	40,000円
循環動態に係る薬剤投与関連	80,000円
精神及び神経症状に係る薬剤投与関連	80,000円

（２）【振込先】

南都銀行 橿原支店

普通預金 0192567

名義人 公立大学法人奈良県立医科大学理事長 細井裕司

注意事項

- ・受講審査料および研修受講料の振込先は同一です。
- ・振込手数料は受講希望者の負担となります。
- ・振込依頼人は以下のとおり入力してください。 トク）＋氏名（姓と名の間の空白は不要です
例】医大花子さんの場合→トク）イダイハナコ

5. 相談窓口の設置

特定行為研修の受講にあたり、どのコースを受講するか、どの選択区分やオプションを受講するかなど受講に対する疑問や悩みについて、看護師特定行為支援センター職員が相談に応じますので、お気軽に下記までお電話ください。

看護師特定行為支援センター TEL：0744-22-3051（内線2185、3818）

6. その他

- ・講義や演習で使用するため、各自、ノートパソコン(タブレットは不可)・Webカメラ・マイク・イヤホンを用意してください。
- ・自宅でのe-learningやリモート研修のため、インターネット接続が必須です。
- ・選択区分「栄養に係るカテーテル管理(末梢留置型中心静脈注射用カテーテル管理)関連」の実習は、奈良県立医科大学附属病院 I V R センターにて、X線透視下で行います。

○問い合わせ先○

〒634-8522

奈良県橿原市四条町840番地

奈良県立医科大学附属病院 看護師特定行為支援センター 特定行為研修担当

TEL: 0744-22-3051 (代表) 内線2185、3818

メール: kangojissen@naramed-u.ac.jp

URL:

<https://www.naramed-u.ac.jp/university/kanrenshisetsu/careershien/tokuteikouikenshu.html>

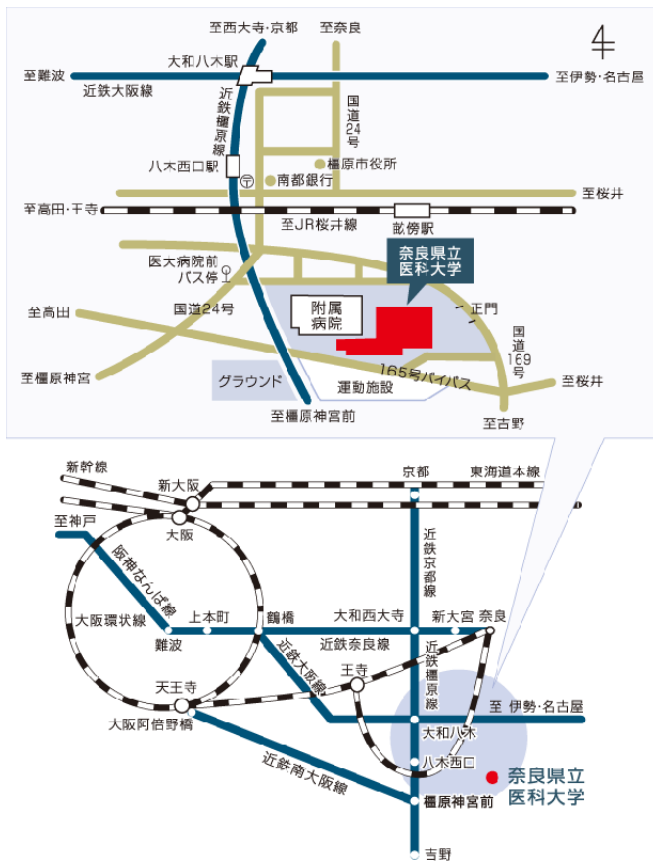


【令和8年度】奈良県立医科大学附属病院 特定行為研修モデル 【進捗表】

	科目名	令和8年4月	令和8年5月	令和8年6月	令和8年7月	令和8年8月	令和8年9月	令和8年10月	令和8年11月	令和8年12月	令和9年1月	令和9年2月	令和9年3月
共通科目	臨床病態生理学												
	臨床推論												
	フィジカルアセスメント												
	臨床薬理学												
	疾病・臨床病態概論												
	医療安全学・特定行為実践												
区分別科目	呼吸器（気道確保に係るもの）関連												
	呼吸器（人工呼吸療法に係るもの）関連												
	呼吸器（長期呼吸療法に係るもの）関連												
	循環器関連												
	ろう孔管理関連												
	栄養に係るカテーテル管理（中心静脈カテーテル管理）関連												
	栄養に係るカテーテル管理（末梢留置型中心静脈注射用カテーテル管理）関連												
	創傷管理関連												
	動脈血液ガス分析関連												
	栄養及び水分管理に係る薬剤投与関連												
	血糖コントロールに係る薬剤投与関連												
	術後疼痛管理関連												
	循環動態に係る薬剤投与関連												
	精神及び神経症状に係る薬剤投与関連												

研修完了判定

交通案内



電車のご利用

JR 桜井線畝傍駅下車 徒歩約 10 分

近鉄大和八木駅下車 徒歩約 15 分又はバス約 8 分

近鉄八木西口駅下車 徒歩約 8 分

バスのご利用

近鉄八木駅から

- ・「医大病院玄関口」下車（奈良交通バス）
- ・「奈良医大病院」下車（橿原市コミュニティバス）

※上記以外にも国道 24 号線沿いバス停（医大病院前）もご利用頂けます。但し、病院玄関までは徒歩 2 分要します。



※公共交通機関をご利用ください

